

社会資本総合整備計画（活力創出基盤整備） 中間評価書

平成 26 年 3 月 20 日

計画の名称	7 安全・安心に配慮したまちづくり																									
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)	交付対象	備前市																							
計画の目標	備前市内の道路整備を歩道の確保や、災害時の安全、緊急車両のアクセスを考慮したものにより、市民が安全で安心して暮らせるまちづくりを目指す。																									
計画の成果目標（定量的指標）	歩行者の通行困難箇所の解消（整備率） 緊急車両の通行困難箇所の解消（整備率）																									
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H22当初)</th> <th>中間目標値 (H24末)</th> <th>最終目標値 (H26末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 歩道の整備により安心して通行ができるようになった箇所の整備延長 (m) ÷ 歩行者が安心して通行できない箇所の整備予定延長 (m) × 100 (%)</td> <td>0%</td> <td>50%</td> <td>100%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>② 1.5車線の拡幅改良により緊急車両等のすれ違いが容易で、安心して通行ができるようになった箇所の整備延長 (m) ÷ 緊急車両が安心して通行できない箇所の整備予定延長 (m) × 100 (%)</td> <td>0%</td> <td>20%</td> <td>100%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	① 歩道の整備により安心して通行ができるようになった箇所の整備延長 (m) ÷ 歩行者が安心して通行できない箇所の整備予定延長 (m) × 100 (%)	0%	50%	100%		② 1.5車線の拡幅改良により緊急車両等のすれ違いが容易で、安心して通行ができるようになった箇所の整備延長 (m) ÷ 緊急車両が安心して通行できない箇所の整備予定延長 (m) × 100 (%)	0%	20%	100%		③				
	定量的指標の現況値及び目標値				備考																					
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)																							
① 歩道の整備により安心して通行ができるようになった箇所の整備延長 (m) ÷ 歩行者が安心して通行できない箇所の整備予定延長 (m) × 100 (%)	0%	50%	100%																							
② 1.5車線の拡幅改良により緊急車両等のすれ違いが容易で、安心して通行ができるようになった箇所の整備延長 (m) ÷ 緊急車両が安心して通行できない箇所の整備予定延長 (m) × 100 (%)	0%	20%	100%																							
③																										
中 間 評 価																										
○中間評価の実施体制、実施時期																										
中間評価の実施体制	中間評価の実施時期																									
まち整備課	平成26年3月																									
	公表の方法																									
	備前市ホームページに掲載																									
1. 交付対象事業の進捗状況																										
交付対象事業																										
A1 道路事業																										
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					備考										
											H22	H23	H24	H25	H26											
7-A1-1	道路	一般	備前市	直接	-	市町村道	交安	(他) 天神橋	橋梁設置 L=51.5m	備前市																
7-A1-2	道路	一般	備前市	直接	-	市町村道	改築	(1) 伊里9号線	橋梁設置 L=33.0m	備前市																
7-A1-3	道路	一般	備前市	直接	-	市町村道	改築	(他) A-2号線	現道拡幅 L=600m	備前市																
7-A1-4	道路	一般	備前市	直接	-	市町村道	改築	(他) A-37号線	現道拡幅 L=400m	備前市																
7-A1-5	道路	離島	備前市	直接	-	市町村道	改築	(他) 日生頭島線	離島架橋 L=1,823m	備前市						※架橋										
小計 (道路事業)																										
合計																										
B 関連社会資本整備事業																										
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					備考											
										H22	H23	H24	H25	H26												
7-B1-1	河川	一般	備前市	直接	-	改修	(準) 香登川	護岸整備 L=600m	備前市						河川法											
合計																										
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考												
7-B1-1	(他)A-2号線(7-A1-3)等の市内道路整備に併せ、(準)香登川の改修を実施することで、豪雨時における道路冠水を防止し、市民が安全で安心して暮らせるまちが実現される。																									

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					備考
										H22	H23	H24	H25	H26	
7-C1-1	計画・調査	一般	備前市	直接	—	計画・調査	交通実態調査	伊里9号線外の交通実態調査	備前市						
										合計					
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
7-C1-1	当計画の効率的・効果的な展開を図ることを目的として、計画評価を行うための交通量等の実態調査((1)伊里9号線(7-A1-2)外)を行う。														

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況									
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>7-A1-1 (他) 天神橋 既設橋梁の横に橋梁を新設したことで、歩車道が分離され車両の離合が可能となり、車両と歩行者がともに安全に利用できている。</p> <p>7-A1-2 (1) 伊里9号線 橋梁の架け替えに伴い拡幅をしたことで、車両の交互通行が可能となり、路肩も広くなったため、車両と歩行者が安全に利用できている。</p>								
II 定量的指標の達成状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標①(歩行者の通行困難箇所の解消)</th> <th>中間目標値</th> <th>50%</th> <th rowspan="2">目標値と実績値に差が出た要因</th> <th rowspan="2">事業費の前倒しが可能となったため、目標値を上回ることができた。</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <th>中間実績値</th> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>	指標①(歩行者の通行困難箇所の解消)	中間目標値	50%	目標値と実績値に差が出た要因	事業費の前倒しが可能となったため、目標値を上回ることができた。		中間実績値	100%
	指標①(歩行者の通行困難箇所の解消)	中間目標値	50%	目標値と実績値に差が出た要因			事業費の前倒しが可能となったため、目標値を上回ることができた。		
		中間実績値	100%						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標②(緊急車両の通行困難の解消)</th> <th>中間目標値</th> <th>20%</th> <th rowspan="2">目標値と実績値に差が出た要因</th> <th rowspan="2">事業費の前倒しが可能となったため、目標値を上回ることができた。</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <th>中間実績値</th> <td>55%</td> </tr> </tbody> </table>	指標②(緊急車両の通行困難の解消)	中間目標値	20%	目標値と実績値に差が出た要因	事業費の前倒しが可能となったため、目標値を上回ることができた。		中間実績値	55%
指標②(緊急車両の通行困難の解消)	中間目標値	20%	目標値と実績値に差が出た要因	事業費の前倒しが可能となったため、目標値を上回ることができた。					
	中間実績値	55%							
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)	7-A1-3 (他)A-2号線 隧道の盤下げを行ったため、高規格救急車の通行が可能となった。								

3. 特記事項 (今後の方針等)
供用開始による事業効果を図れるように、残りの事業については進捗状況の管理を徹底する。

(参考図面) 活力創出基盤整備

計画の名称	7. 安全・安心に配慮したまちづくり	交付団体	備前市
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）		

